

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：4/16～4/20

・ 4/16(月)

財務省福田事務次官のセクハラ疑惑、イラク日報問題、放送法四条改正問題、柳瀬氏の参考人招致もしくは証人喚問をめぐる与野党の駆け引きなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法四条改正問題については放送法第四条に抵触するシーンが見られました。また、放送法四条改正問題については検証者の所感を記しました。

・ 4/17(火)

福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応、加計学園問題、小西参議院議員への幹部自衛官の面罵、米中貿易戦争について報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、放送法第四条の見地からは特に問題は見られませんでした。福田財務次官のセクハラ疑惑に対する財務省の対応については印象操作の疑いが見られました。また、番組構成について検証者の所感を記しました。

・ 4/18(水)

福田次官辞任、テレ朝会見、安倍首相訪米、南北首脳会談、新潟県知事辞職表明、米軍ヘリ緊急着陸などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、特に問題は見られませんでした。

・ 4/19(木)

福田次官セクハラ疑惑、日米首脳会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、日米首脳会談については抵触する部分があり、福田次官セクハラ疑惑については他の放送日との総合的な判断を要するものであり問題がないものとは言い切れないものでした。

・ 4/20(金)

財務次官セクハラ疑惑、加計問題、南北首脳会談、超党派国会議員の靖国参拝などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行ったところ、トピック自体については放送法への抵触や印象操作は見られなかったものの、番組構成自体は非常に問題のあるものでした。そのため番組構成についての所感を記しました。また、財務次官セクハラ疑惑についても所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月16日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：財務省福田事務次官のセクハラ疑惑、イラク日報問題、放送法4条改正問題、柳瀬氏の参考人招致もしくは証人喚問をめぐる与野党の駆け引き		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務省福田事務次官のセクハラ疑惑 ・イラク日報問題 ・51年前に別の赤ちゃんと取り違えられた男性への取材 ・放送法4条改正問題 ・柳瀬氏をめぐる参考人招致もしくは証人喚問をめぐる与野党の駆け引き ・中3女子1000万円盗む ・スポーツ ・23 TODAY <p>財務事務次官“セクハラ”発言を全面否定 イラク日報に“戦闘”の記載複数確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中ハイレベル経済対話 ・シリアめぐり米ロ対立激化 ・岸田氏が安倍首相と会食 総裁選は「まだ決めていない」 ・米山新潟県知事 辞職の意向固める ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務省福田事務次官のセクハラ疑惑→結論：特に問題見られず <p>今回の報道は財務省福田事務次官のセクハラ疑惑の報道であり、このトピックについて当てられた時間は554秒であった。</p> <p>財務省の事務方トップ側の福田事務次官が女性記者にセクハラ発言をしたと報じられた問題で、渦中の次官が今日は疑惑を全面的に否定した。音声があるのでセクハラ行為はあったのかと貴社から問われると福田財務事務次官「コメントを見てください。出しますから。」と答えた。</p> <p>公開された音声は女性の音声はなく、字幕のみであった。その音声によれば、福田次官「今日ね、今日ね・・・抱きしめていい？」女性記者「ダメです」福田次官「手を縛ってあげる。胸さわっていい？」女性記者「だめですよ」福田次官「手縛って良い？」女性記者「そういうこと本当にやめてください」等のやりとりがあったとのことである。</p> <p>疑惑の渦中にある福田次官とは東大法学部を卒業し、1982年に大蔵省に入省し、同期には佐川宣寿氏、自民党参議院議員の片山さつき氏がいる。</p> <p>福田財務事務次官の一つ先輩である元財務官僚の松田学氏によれば、福田財務事務次官は「もともと元気でバイタリティーにあふれたタイプ。お酒を飲んでいてもその場を盛り上げるタイプ」で女性問題については聞いた</p>		

ことがないとのことであった。

今回の問題に対して財務省は福田次官とやりとりをした女性に調査のために名乗り出てもらいたい、女性記者に不利益が生じないよう外部の弁護士事務所が対応にあたることから野党側から厳しい批判があった。

スタジオでは、星キャスターは今回の財務省の対応の問題点として、取材妨害につながりかねないこと、女性に協力しろというのは納得がいけないと指摘した。さらに、麻生さんの責任で調査を進めて、処分することが第一ですと述べた。

・イラク日報問題→結論：特に問題見られず

今回の報道はイラク日報問題の報道であり、このトピックについて当てられた時間は 323 秒であった。

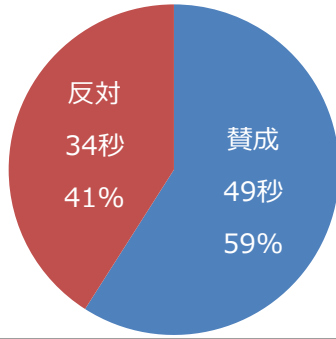
防衛省は 15,000 ページに及ぶ自衛隊がイラクに派遣されていた際の日報を公開した。その中で、戦闘という言葉それがどこに何を表すかによって実は重大な意味を持つと指摘した。

日報の一例として、2006 年 1 月 22 日の日報を取り上げた。自衛隊の宿営地があったサマワの治安情勢として、「イギリス軍と武装勢力の銃撃戦。サドル派民兵が射撃し始めたことに端を発して、戦闘が拡大」という内容であった。自衛隊が活動できるのはイラク特措法で”非戦闘地域”に限られていたと指摘した。日報には「ボンという発射音と共に飛翔音らしき音を確認」。さらに、別の日報では「自衛隊の車両の近くで爆発があり車両が傷ついたこと写真入りで記録。その後の会議では本日の爆発事案については深刻に考える必要がある。」とあった。民主党岡田克也代表（当時）「イラク特措法における非戦闘地域の定義を教えてください。」小泉純一郎首相（当時）「自衛隊が活動している地域が非戦闘地域なんです。」という国会でのやりとりがあり、こうした答弁と戦闘の文字に矛盾があるようにもみえると指摘した。

共産党小池昇書記局長「非戦闘地域というのは虚構であったと イラクの日報には戦場の真実が書かれていたそれを隠蔽するために これまでイラク日報を明らかにしてこなかったのではないかと」と述べる一方で、イラク復興業務支援の隊長を務めた自民党の佐藤正久氏は日報の戦闘という言葉について「初代イラク復興支援業務支援隊長佐藤正久外務副大臣「「戦闘」ってかちつとした定義はありませんから、人によっては小競り合いも「戦闘」発砲事件や小競り合いはあった けど「戦闘行為」というレベルではなかったと述べた。小野寺防衛大臣も「イラク復興支援特措法に基づいて自衛隊の活動が実施されたという認識に変わりはありません。」と述べた。

スタジオでは、星キャスターは「今回の日報を見ると、自衛隊が戦闘と隣り合わせであったということは間違いないわけですね。ですから、日報と共にイラク戦争への派遣は一体どういうことだったのかというのを全体としてきちんと検証する必要があると思いますね。」と述べた。

賛否の結果を見ると、時間比率に大きな偏りはみられない。

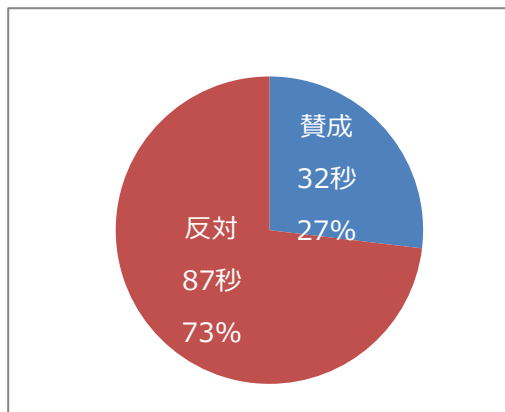


- ・放送法 4 条改正問題→結論：放送法第四条第二項に違反する可能性がある

今回の報道は放送法 4 条改正問題の報道であり、このトピックについて当てられた時間は 149 秒であった。

放送のあり方について検討してきた政府の規制改革推進会議は今日、中間取りまとめを発表したが、一部で検討されていた放送法の抜本的な改正の言及はなかった。安倍首相は「ネットテレビは視聴者の目線にたてば地上波と全く変わらない訳であります」と述べ、実際に政府内で一時放送法の抜本的な改正も視野に検討されていた。放送のあり方を定めた方を放送法の規定を民放に限り撤廃し放送とインターネットの競争を促そうとの考えからであった。しかし、放送法はその 4 条で「政治的公平性」や「正確な報道」を放送局に求めている、こうした条文を撤廃すると、事実と異なる所謂フェイクニュースが増える恐れが指摘されており、野田聖子総務相は、「仮に放送法第 4 条を撤廃した場合には公序良俗を害する番組や事実に基づかない等の報道が増加する可能性が考えられる。」と述べた。また、政府・与党内でも「政治的に極端な主張を繰り返す偏向した報道局が生まれるのでは」という懸念も広がっていた。日本民間放送連盟は「国民の知る権利にこたえ放送の公共的役割をないがしろにするような政策は決して国民の利益になりません。今後は国民各層の意思を十分に聴取し精緻な議論を行うよう要望します。」とコメントした。

賛否の結果を見ると、時間比率に大きな偏りがみられる。これは放送法第四条二項（政治的に公平であること）に違反する可能性がある。



- ・柳瀬氏の参考人招致もしくは証人喚問をめぐる与野党のかけひき→結論：特に問題見られず

今回の報道は柳瀬氏の参考人招致もしくは証人喚問をめぐる与野党のかけひきの報道であり、このトピックに

ついて当てられた時間は 73 秒であった。

加計学園の獣医学部新設をめぐる問題で柳瀬元総理秘書官の国会招致をめぐる与野党の駆け引きが続いており与党は参考人招致を、野党は証人喚問を求めた。こうした動きに対して、星キャスターは「柳瀬氏は以前、参考人として記憶にないを連発したことがあるんですね。その後、愛媛県の職員との面会の備忘録などが次々に明らかになってきていますので、また、今回参考人としてでると連発されるんじゃないかな。記憶にないということもあるので、本当に真相解明ということであれば、やはり嘘をつけば罰せられる証人喚問でやるしかないと思いますね。」と述べた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

放送法 4 条の改正問題を巡り、反対意見として、野田総務相の発言や日本民間放送連盟のコメントをあげたが、賛成意見は安倍首相の短い国会答弁を取り上げるだけであった。本来は、放送法 4 条の改正の報道は慎重に放送法 4 条に抵触しないかを配慮してもおかしくはないが、賛否のバランスは偏っており、自ら放送法 4 条の意義を滅却しかねない放送を行っていたといえる。

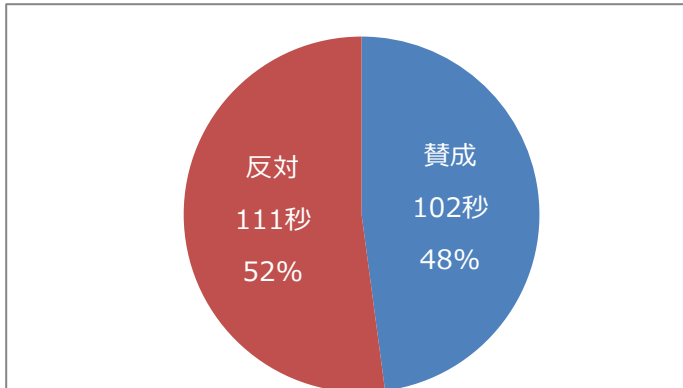
このように、放送法 4 条を巡る放送での賛否の割合は明らかにおかしく、これで放送法 4 条を守れというのは異常だと感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月17日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応、加計学園問題、小西参議院議員への幹部自衛官の面罵、米中貿易戦争		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応 ・加計学園問題 ・小西参議院議員への幹部自衛官の面罵 ・米中貿易戦争 ・全国初「終活情報」登録サービス ・新潟県米山知事女性問題で辞任 ・「即位の礼」で使用「高御座（たかみくら）」公開 ・大韓航空の“水かけ姫” 出国停止求められる ・スポーツ ・23TODAY <p>セクハラ疑惑 批判噴出 幹部自衛官「議員を面罵」 タカラジェンヌへ40人が入学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃走の受刑者と一致するDNAの牛乳パック見つかる ・ハワイカウアイ島で記録的豪雨 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応→結論：問題なし <p>今回の報道は福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は305秒であった。</p> <p>セクハラ疑惑を全面否定した財務省の福田淳一事務次官と財務省が女性記者に対して調査への協力をお願いしたいと名乗り出るよう求めたことに批判が集中したことに関して報じた。</p> <p>女性が名乗り出なければ、事実の認定はしないということですかと記者から問われると、麻生太郎財務相「一方的な訴えをどうしても取り扱いのしようがない。私どもとしては少なくとも第三者の弁護士をいれてその弁護士も女性の人をいれて言いやすい状況にしてやって本人が申し出てこなければそんなもんどしようもないですね」と答えた。</p> <p>セクハラ問題に詳しい弁護士の武井由紀子弁護士は「否定したいことがある人たちが調査するとやはり意図が入ってしまう。やっぱりそこは 第三者委員会というやり方があるわけですね 顧問契約している利害関係のある弁護士は外れなきゃいけない 財務省になりかわって調査するわけではない あくまで国民のために調査することになってきます」と述べた。</p>		

放送法遵守を求める視聴者の会

財務省の対応に賛成する立場と反対する立場で、賛否は以下ようになった。



結果を見ると、時間比率はほぼ同じである。

・加計学園問題→結論：問題なし

今回の報道は加計学園問題についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 129 秒であって、放送法第四条の観点から特に問題は見られなかった。

当時総理秘書官だった柳瀬氏は愛媛県の今治市の職員と官邸であったことを認めていませんが、文科省であるメールが見つかったと報じた。元首相補佐官柳瀬唯夫経済産業審議官は「国会のご判断を踏まえて誠実にお話させていただきたいと思います」と述べた。

一方、安倍総理は「一つ一つの問題について責任をもって必ず全容を解明し一膿を出し切っていく決意であります」と述べた。

・小西参議院議員への幹部自衛官の面罵→結論：問題なし

今回の報道は米中貿易戦争についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 264 秒であって、放送法第四条の観点から特に問題は見られなかった。

「お前は国民の敵だ。」現役の幹部自衛官が日報問題などを追及していた小西議員を国会近くの路上で繰り返し罵倒する事件があったと報じた。防衛省によりますと、罵倒したのは統合幕僚監部の 30 代 3 等空佐。自衛隊法で政治的行為が制限されており、自衛隊員の品位を傷つける行為などは懲戒処分の対象となる。小野寺五典防衛相も「小西議員に不快な思いをさせたということに関しては当爆釣を含め、私どもから申し訳ないという気持ちだと思います」と述べた。

星キャスターは「実力組織である自衛隊がですね、こういうことをやってはいけないというのは民主主義の基本中の基本ですから、これは本当に厳正に対処してもらいたいと思いますね。」とのべた。

・米中貿易戦争→結論：問題なし

今回の報道は米中貿易戦争についての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 297 秒であって、

放送法第四条の観点から特に問題は見られなかった。

アメリカが中国に高い関税をかけることで国内産業守りたいトランプ大統領はファームベルトと呼ばれるトランプ氏支持者の多い中西部の農業地域の農民の間でトランプ大統領への反発が広がっている。

トランプ大統領は鉄鋼に 25%、アルミニウムに 10%の関税をかけ、中国を主な標的として鉄鋼製品などへの輸入制限を発動さらに”知的財産の侵害”を理由に中国からの輸入品に幅広く関税と発表した。

このようなアメリカへの対抗措置として、大豆や豚への関税の引き上げを行った。中国農務省王受文次官は「戦争をしたいなら我々は最後までつきあう」と述べた。

アメリカイリノイ州の農家で取材で、中国に輸出する大豆・豚を飼育する農家のトランプ政権への不満が取り上げられた。

星キャスターは今、世界の経済はつながっていますからね、アメリカが強硬策を打ち出すと自分に跳ね返ってくるわけですね。WTO みたいな世界的な組織でね誰も自由貿易を話し合うという本筋に戻らなくてはいけないんですけど明日から日米首脳会談で総理がそういう本筋のことをトランプさんに説得できるかどうかここがポイントですねと述べた。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・ 福田財務次官のセクハラ疑惑に関する財務省の対応

星キャスターは「自民党の幹部によればこんなことでしたね。名乗り出なければ福田次官は当面やめなくて済むし麻生氏もやめなくてすむ。財務省にも安倍首相にもその方が都合がいいという見立てをしているんですけど、そうであるとするんですね、財務省も安倍総理も目の前のことをやり過ぎそうと思ってこうまっとうな判断ができなくなってきたんじゃないかなって気がしますね。」と述べ、実際の事実関係は不明確にも関わらず、この報道では普通の注意で視聴を行う一般の視聴者に対してそれが事実であるかのような印象を抱かせるようなものであると考えられ、印象操作の疑いが濃厚といえる。

検証者所感

- ・ 番組構成について

連日ほぼ同じ話題が続いており、問題のない場合とある場合があるが、問題のある報道の方が多い。

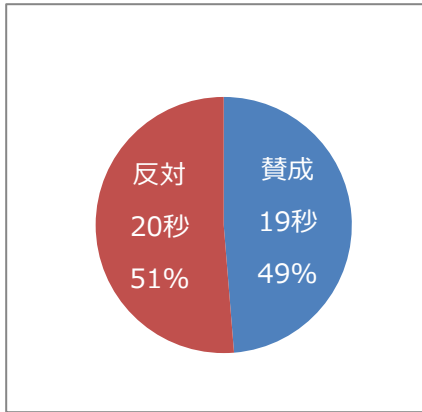
NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月18日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：福田次官辞任、テレ朝会見、安倍首相訪米、南北首脳会談、新潟県知事辞職表明、米軍ヘリ緊急着陸		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福田財務次官辞任 ・【速報】テレビ朝日が会見 女性記者への被害認める ・安倍首相訪米 「拉致問題」取り上げに合意 ・南北首脳会談の様子をテレビ中継することで合意 ・新潟県知事が辞職表明 ・旅客機の飛行中にエンジン炎上 1人死亡 ・大分・山崩れから1週間 ・米軍ヘリが熊本空港に緊急着陸 ・スポーツ報道 ・23 トゥデイ <ul style="list-style-type: none"> ・福田次官辞任表明 ・テレ朝会見へ ・米朝会談で拉致問題取り上げ ・ボーイング 787 運行規制へ ・水没の「光進丸」引き揚げへ ・バーバラ・ブッシュさん死去 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福田次官辞任→結論：問題なし。 <p>財務省・福田事務次官のセクハラ発言疑惑の問題で、福田事務次官はセクハラ発言は無いとしながらも、現状では職責を全うできないことを理由に辞職することが伝えられた。福田次官は辞職に際し会見を開き、記者の種々の質問に答える様子が中心的であった。</p> <p>また、この問題に関して、女性記者に名乗り出て欲しいという財務省の対応にも批判が集まっていることも合わせて伝えられた。福島みずほ議員（社民党）は「福田さんが全面否定している言い分を公表し、これに反論があれば言っていや、と言っているわけですよ。」と発言し、閣内からも野田聖子議員（自民党）が「財務省が委託した弁護士事務所を窓口としていること、加害をした人の仲間、関係者と普通は捉えてしまう。」と発言している。これに対して、財務省の言い分として「財務省にではなくて、弁護士に名乗り出て名前を伏せておっしゃるということがそんなに苦痛なことなのか、という思いです。しかし、それ以上に我々は調査のしようがないです。」と発言している。また、麻生財務相も「週刊誌には言っても、守秘義務のある弁護士には言えないというのがちょっと理解できない。」と発言する様子が報じられた。財務省の調査手法について現役女性記者に話を聞いたとこ</p>		

ろ、女性記者①「記者が名乗ることが難しいということを悪用しているように思う。」女性記者②「今回の調査方法を司法制度で置き換えて考えれば、被害者が加害者の代理人や弁護士に会いに行くようなもの。通常の性被害の問題の対応から大きくかけ離れていると思う。」女性記者③「今回はオフレコの取材を録音し、週刊誌に流すという取材手法にも問題があり、二重の意味で相手が名乗れないと分かってやっているの、財務省にとっての時間稼ぎ以外の何物でもない。非常にずるいやり方との印象がある。」というコメントが紹介された。

福田氏の事務次官について各党の議員のコメントとして二階幹事長（自民党）「この政局の運営に迷惑をかけてはいけないという思いがあって対応されたものと思いますから、私がそれ以上追い打ちをかけるようなことを申し上げるつもりはありません。」玉木代表（希望の党）「やはり、早い段階で事実を認めて謝罪するなり対応を取るべきだった。かえって傷口を広げた形になっていると思います。」辻元国対委員長（立憲民主党）「これはやはり、事務次官が辞めてすむ話ではなくて、次は麻生大臣の任命責任が問われるのではないかと思います。」というコメントが紹介された。

このトピックについて財務省の調査手法に対する賛否バランスの時間計測を行った。結果は以下の通り。



結果を見ると時間配分は極めて公正であることが判る。今回は放送法第四条の観点からの問題は見つからなかった。

今トピックは 593 秒の放送時間であった。

・テレ朝会見→結論：問題なし

福田次官のセクハラ発言疑惑に対してテレビ朝日が自社の女性社員がセクハラ被害者であることを明らかにし、会見を開くことが伝えられた。

また、セクハラ発言疑惑についてのスタジオでの解説が行われ、星氏が「これはですね、今の政権の中の対立構図が浮かび上がってくるわけですね。麻生さんはもともとは自分の責任に及んでくるので、福田さんの辞任は避けたいと思っていたんです。官邸側は麻生さんの判断次第ですが、このままでは政権全体に波及すると辞任を求めてきたと。二階幹事長も官邸の判断に従うということで、結局麻生さんが孤立するという状況になっていますね。」「麻生さんの責任論が高まるのは必至ですよ。麻生さんは安倍政権にとっての大きな柱ということで、そこが揺らぐとなると安倍政権にとっては大きなピンチということですね。仮に、麻生さんが閣内から去ることになると、秋の総裁選挙にも大きな影響を与えるということですよ。」という解説が為された。

今トピックは経緯説明と解説のみの内容であったため、賛否の時間計測を行わなかった。

放送法第四条の観点からの問題も見つからなかった。

今トピックは 104 秒の放送時間であった。

- ・安倍首相訪米→結論：問題なし。

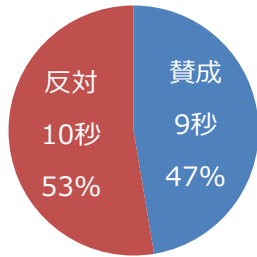
米朝首脳会談を前に安倍首相がアメリカを訪問し、トランプ大統領との会談内容が報じられた。

安倍首相は米朝首脳会談において拉致問題を取り上げるようトランプ大統領に強く要請し、トランプ大統領はそれに対して「日本にとって最善となるようベストを尽くす」と発言したことが明らかとなった。安倍首相はツイッターで「日本のために最善となるようベストを尽くす。トランプ大統領は拉致問題を取り上げることを確約してくれました。」とツイートし、成果をアピールした。これに対して与党幹部から「財務次官のセクハラ問題の前では大した成果にならんだろう。」という発言や、拉致被害者家族の飯塚繁雄会長（拉致被害者家族会）から「議題に出ただけじゃ駄目なんだよね。日本人を帰すという確約を取ってもらいたいんですよ。」という発言があったことも報じられた。

また、今回の日米首脳会談中にトランプ大統領が発した「北朝鮮と直接対話を始めた。直接対話は非常に高いレベル、極めて高いレベルで行っている。」という発言が注目を集めていることが報じられ、高いレベルでの直接対話とは CIA のポンペオ長官の極秘訪朝であったことが報じられた。

スタジオに戻り、現地（アメリカ）記者から「はい。トランプ氏所有のゴルフ場の前に来ています。二十分ほど前になりますが、私たちのカメラで安倍総理とトランプ大統領がゴルフをしている姿を捉えることが出来ました。二人とも非常にリラックスした様子でした。さて、財務事務次官の辞任につながったセクハラ疑惑ですが、辞任については早朝、安倍総理に伝えられたということです。こうした不祥事に加え、森友・加計問題もある中でゴルフを行うことについては政府与党内で慎重意見もありましたが、二人きりで長時間話せるというメリットを考慮した模様です。この後両首脳は 2 日目の会談に臨み、経済政策を中心に議論します。トランプ大統領は会談初日、日本はアメリカから防衛装備品を購入し、アメリカは日本から多くの車などを買っている。しかし、さらに貿易について議論しなければならない。と述べており、日米の貿易不均衡について厳しい要求が突きつけられると思われます。また、去年アメリカが離脱した TPP を巡り、トランプ氏はツイッターで復帰に否定的な意見を示した上で、2 国間協定の方が効果的だと日米の FTA、自由貿易協定に意欲を示していました。日本にとって厳しい協議になることも予想されます。」という報道がされた後、星氏から「まあ、拉致問題はアメリカが日本に配慮した、アピールした格好でしたけれども、首脳同士の焦点になったのはやはりミサイル問題だと言われているんです。ICBM、アメリカに届くものですが、これだけではなく日本を標的にした中距離弾道ミサイルも止めさせるべきだと安倍総理は話したといえます。つまり、日本にも在日米軍基地がありますから、そういう事をトランプさんに説明していると。一方、トランプさんは明日の貿易問題の協議で日本に譲歩を迫りたいわけで、北朝鮮の事情を貿易問題に絡めてくるというわけで、安倍さんもアメリカの要求にはっきりとノーと言いきくい事情がある構図なんですよ。」という解説が付け加えられた。

今トピックにおいては安倍首相の日米首脳会談 1 日目についての成果に対する評価について賛否バランスの時間計測を行った。結果は以下の通り。



時間配分は極めて公平であることが判る。今トピックにおいては放送法第四条の観点からの問題は見られなかった。

今トピックの放送時間は 411 秒であった。

・南北首脳会談→結論：問題なし。

今月 27 日に控えた南北首脳会談の一部様子がテレビで生中継されることが決まったと報じられた。

今トピックでは北朝鮮の指導者が韓国に入ることは初であることや会談場所についての情報が報じられた。

報道の中心は経緯説明であったため、賛否の時間計測は行なわなかった。放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

今トピックの放送時間は 54 秒であった。

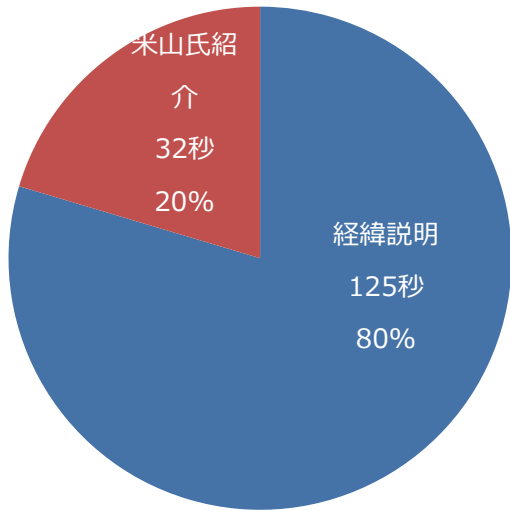
・新潟県知事辞職表明→結論：問題なし。

金銭を渡しながら女性と交際していたことを認め、新潟県知事の米山隆一氏が辞職を表明したことが報道された。米山氏はお金を渡した理由について「歓心を買おうと思っていたということです。それによって好きになってもらおうと思っていたといえますか。」と述べており、自身の行動が売買春にあたる可能性があることも認める発言を行っていることが伝えられた。

報道の最後には会見の様子が伝えられ、1 日前に行なわれた会見では涙を流すシーンも見られたが、今日の会見では感情を乱すこと無く記者の質問に淡々と答える様子であったことが伝えられた。会見の最後のみ、表情を崩したとされ、最後に原発問題について語り、会場を後にしたことが伝えられた。

今トピックは賛否が別れる内容のトピックではなかったため、賛否の時間計測は行なわなかった。

トピックを経緯説明と米山氏紹介の二つに分割してそれぞれの時間計測を行った結果がこちら。



放送法第四条の観点から問題は見られなかった。
今トピックの報道時間は 157 秒であった。

・米軍ヘリ緊急着陸→結論：問題なし。

アメリカ軍普天間基地所属の米軍ヘリ 2 機が熊本空港に緊急着陸したことが伝えられた。1 機の不具合による予防着陸とされているが、原因は調査中とされた。けが人、航空機への影響はないとされた。

今トピックは経緯説明のみの内容であったため、賛否の時間計測は行わなかった。放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

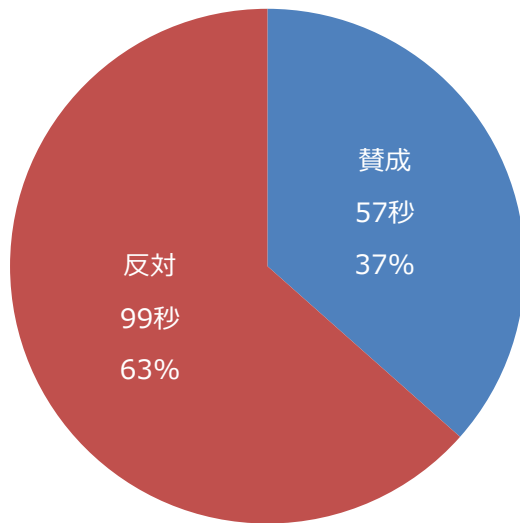
今トピックの放送時間は 21 秒であった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感
特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月19日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：福田次官セクハラ疑惑、日米首脳会談		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> ・福田次官セクハラ疑惑 ・日米首脳会談 ・赤ちゃん取り違え ・霧島連山・硫黄山が噴火 ・山辺被告に懲役7年 ・平尾受刑者逃走12日目 ・「貴乃花一門」の名消滅へ ・スポーツ情報 ・踏切で男性死亡 ・バスとワゴン車衝突 ・土俵の女人禁制問題 ・天気予報 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<ul style="list-style-type: none"> ・福田次官セクハラ疑惑→結論：他の放送日との総合的な判断が必要。 <p>財務省の福田次官がテレビ朝日の記者に対してセクハラ発言を行ったことについての報道。番組の前半にかけては主に事件の経緯や、財務省関係者の事件に対する応答など今回の事件の政治的側面に焦点が当てられていた。対して後半部はセクハラを一つの社会問題として捉えて報道がなされていた。</p> <p>同報道内で今回の財務省の立場に肯定的な立場の人物の意見を賛成、否定的な立場の意見を反対として集計したところ以下のような時間、比率となった。</p>		



賛成意見としては

記者：次官、きのうのテレ朝の会見は見たか？

福田：(音声の)一部しかとってないでしょ。向こうがお話になっているところをとっていないので、全体を見てくれと前から申し上げているのに、そういう意味。全体を申し上げればそういうもの(セクハラ)に該当しないのはわかるはず。

記者：セクハラ発言がなかったなら何で辞任するの？

福田：何？昨日こういう状況になっているから仕事にならないので辞めますと申し上げた。

といった福田次官と記者とのやり取りが紹介された。

また矢野官房長についても取り上げられ「弁護士さんに名乗り出て名前を伏せておっしゃるということが、そんなに苦痛なことなのかという思いで」という発言や

記者：自身のセクハラへの認識が低いとの指摘についてどのように考えるか

矢野：私は相当高いと思いますよ。

とのやり取りが報道された。

反対意見としては週間新潮の「この期に及んでも福田次官がセクハラ行為を否定していることに驚きを禁じ得ません。」と福田氏のセクハラ発言否定を受けてのコメントや、自民党片山さつき議員の「弁解の余地はないと思う。本当に慙愧に堪えない。」との発言、そして自民党中堅幹部のコメントとして「麻生さんもどこかのタイミングで決断しないといけない時が来る。本当に後手、後手ですね。」と報道された。

またテレビ朝日の抗議に対して話を聞くという考えを示した財務省の担当者と希望の党山井和則衆院議員の以下のようなやり取りも報道された。

担当者：(テレビ朝日が)正式に抗議するという話もありました。その話をまずは良く聞かなければいけない。
山井：財務省こそ、まずテレ朝に行って謝るべきなのではないですか。どこの社会でセクハラして文句あるなら
言いに来て言い分待ってますよと。どこまで上から目線なんですか。

賛否の比率で考えると反対意見が大きく目立つ結果となっはいるものの、番組後半部においては「一方でセクハラ問題では組織の姿勢も問われています。被害を受けたとされる女性が所属するテレビ朝日の場合女性は福田氏と会食をした際にセクハラがあったと上司に相談。セクハラの実事を報じるべきではないかと訴えました。しかし～上司は公にしませんでした。」とテレビ朝日側の対応にも疑義を呈しており、反対意見の内訳を見ると与党内の意見も取れ挙げており、セクハラ問題自体には一定の公平性があると考えます。

しかし番組冒頭での雨宮キャスターの「女性が輝く社会を掲げている安倍政権。しかし、その本気度を疑わざるを得ないような問題が次々と起きています。」との発言や星浩氏の「本来は、麻生大臣はこういうセクハラ問題をきちんとやるんだということで陣頭指揮に立たなければいけないのに麻生大臣も全くそういう自覚がないんですね。そういう意味でも私は麻生大臣、今のポストは不適格になっていると思いますね。」との発言などスタジオ内での発言は政権に対して強い否定を伴うものであった。一連の報道姿勢が続くようであれば放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」に抵触する恐れがあり、今後とも注視する必要があると考えます。

・日米首脳会談→結論：放送法第四条第一項二号に照らし合わせると不十分。

日本の安倍総理大臣とアメリカのトランプ大統領との首脳会談についての報道。ゴルフでグータッチを交わすなど互いに蜜月ぶりをアピール。その後の共同会見では安倍総理大臣が北朝鮮問題について「最大限の圧力を維持し北朝鮮に対し非核化に向けた具体的行動を実際に実施するよう求めていく。」と発言。またトランプ大統領も「拉致被害者が日本に帰れるよう出来る限りのことをやる。」と北朝鮮問題について一定の見解の一致が見られた。しかし経済分野についてトランプ大統領は「アメリカは自由で公正かつ、この言葉が重要なのだが「相互的な」貿易取引に努める。」と発言し経済分野での姿勢について違いが浮き彫りとなった。

アメリカの貿易赤字の原因として自動車番組で挙げられ、日本のアメリカ車の不振について自動車評論家の国沢光宏氏が「アメリカ車は日本で全く宣伝を熱心に行っていないので、やはり売れないかと思う。アメリカと中国で売ればいいと思っている。」と解説していた。

また現地から緒方誠氏が「トランプ大統領は11月に中間選挙を控えていて内政と外交での実績作りを急いでいるんですけども、その中心的な課題の一つが日本などを対象にした貿易不均衡の是正なんです。トランプ大統領は今回の首脳会談で貿易赤字の問題は同盟国である日本も特別扱いしない姿勢を明確にしました。安倍総理は大きな情報を強られる可能性のある二国間協定の交渉避けようと今回閣僚級の新たな協議の枠組みを設けただけですが、トランプ大統領は中間選挙の前までに貿易赤字の削減という結果を出すよう求めてくるものとみられます。」と報告していた。

以上が放送の要旨である。なお印象操作の疑いがあったため上記結論とした。印象操作については下項目にて述べる。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・日米首脳会談→結論：印象操作の疑いがあり

同報道の冒頭において「3回目の『ゴルフ外交』蜜月アピールも現実は・・・」とのテロップがあった。経済分野での姿勢の違いについて表現したかったと考えられるが、一応の同盟関係にある日米間の関係を表現するにあたって「現実は・・・」との表現は不適切であるとする。

また番組の後半部で現地の緒方誠記者とスタジオの雨宮キャスターとの間で以下のようなやり取りがあった。

雨宮：ところで日本では財務次官のセクハラ疑惑が大きな問題になっていますがアメリカでも注目されていますか？

緒方：私が首脳会談を取材中にアメリカの有力紙の記者が今回の問題は安倍政権にとってどの程度の打撃になるのかと聞いてきました。アメリカではウォールストリートジャーナルなどが今回の財務次官のセクハラ問題の顛末を詳しく報じていまして、政権のスキャンダルという側面だけでなく、日本社会とセクハラという観点でも注目を集めています。

財務次官のセクハラ疑惑ということで国外においても一定の注目を集める事案とは考えられるが、首脳会談の報道内で外交の成果とは別に一連のセクハラ報道が海外でどのように注目されているかを紹介するのはアンフェアであるし、視聴者にネガティブなイメージを与えるものであると考えられ、印象操作の疑いが強いと考える。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年4月20日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：財務次官セクハラ疑惑、加計問題、南北首脳会談、超党派国会議員の靖国参拝		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務次官セクハラ疑惑 ・加計問題 ・「大韓航空」一家のパワハラ疑惑・密輸疑惑 ・溺死装い妻を殺害した容疑で夫を逮捕 ・南北首脳会談 ・土日も気温上昇 ・超党派国会議員靖国神社参拝 ・札幌市、自転車ひき逃げ事件、容疑者を逮捕 ・硫黄山、火山性微動は続く ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 財務次官セクハラ疑惑 韓国の財閥一家に密輸疑惑 女優のんさんに殺害予告 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財務次官セクハラ疑惑：結論→特に問題なし <p>財務次官についてのセクハラ疑惑とそれに対して野党の女性議員を中心に「#MeToo」のプラカードを掲げ抗議の声が上がっている様子が報じられた。</p> <p>また、麻生財務大臣に対して記者が質問する様子が報じられた。その様子は以下に朱記した通りである。</p> <p>麻生財務相「WatchOut」</p> <p>ナレ「G20に出席するためアメリカに外遊中の麻生大臣、テレビ朝日の記者が最初に質問しました。」</p> <p>テレビ朝日「福田事務次官のセクハラ問題について伺います。」</p> <p>麻生財務相「最初にG7の説明からしたほうがいいんじゃないか」</p> <p>テレビ朝日「テレビ朝日はですね、会見をして被害者、社員が被害を受けた、で財務省に対して抗議を申し入れたということ会見で述べましたが」</p> <p>麻生財務相「会社として正式な抗議ということですからしっかりと受け止めなければならないと思いますが、まずはおはなしをきちんと伺っていく必要があるということだと思っています」</p> <p>テレビ朝日「抗議文に目を通されたのか、と」</p> <p>麻生財務相「出された抗議文っていうのは一枚紙で欠いてありまして、もう少し大きな字で書いてもらったほう</p>		

が見やすいなと思った程度には見ました。」

ナレ「更に、週刊新潮が公開した音声データに女性記者の声が入っていなかったことを念頭にこんな見解を示しました。」

麻生財務相「もう本人が言われて名乗り出ておられるわけですから本人の声を入れられてもおかしくないんじゃないかなと思いますけれどね、それがどうしていないのか分かりませんが」

ナレ「テレビ朝日が匿名としている女性記者の声も出すべきだとしたのです。財務省は夕方になってテレビ朝日に対して納得できるやり方で話を伺いたいと調査を依頼したことを明らかにしました。これに対してテレビ朝日は今後慎重に検討していく、とコメントしています。」

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されました。

雨宮塔子「本当にたくさん問題がありますが、セクハラ問題はこの抗議の広がりによって麻生大臣も財務省も手立てがないようですね。」

星浩「そうですね、まず福田時間が説明を避けてね、次は顧問弁護士の調査に協力しろと言うことですが、どんどん墓穴をほっているところですよ、信頼がなくなっていますので、これから財務省が調査しようとしてもそう簡単には進まないと思いますね。」

駒田健吾「そこで今後の焦点を星さんに纏めてもらいました」

星浩「はい、まず1つはですね、与党議員の反応だと思うんですね。週末にみんな地元に戻りますから、週末地元の人達このセクハラ問題どう反応するか与党議員は非常に敏感に受け止めてくると思いますね。二番目はやっぱり安倍総理がですね、盟友の麻生さんをどう対応するかですよ。今後の総裁選を睨んだ判断というものも必要になってくると思います。三番目が麻生さん本人の判断ですが麻生さんはですね、どうも森友事件、森友問題はこれは安倍総理夫妻の問題じゃないのか、と。なんで俺がというふうに自分では思っているふうなんで、そのへんがこれからの麻生さんの判断にどう響いてくるかということで、週明け色々大きな動きが出てくるかだと思います。」

雨宮塔子「はい、週明けの動きに注目ですね。」

この問題について当てられた時間は 754 秒で、この報道自体では放送法第四条の観点からは特に問題はなかった。

・加計問題：結論→特に問題なし

加計学園の獣医学部新設をめぐる愛媛県職員らが総理官邸を訪れ当時の柳瀬総理秘書官と面会したとされる問題について、林文部科学大臣は今日、内閣府から文部科学省に送信された一通のメールを公開したと併せて、林文科大臣の「個人的に紙ベースで残していた可能性がある、執務室内を探した結果この文書がでてきたということでございます。」という発言が取り上げられた。

また、この問題について野党側の追及として以下に朱記したシーンが取り上げられた。

ナレ「今日、公開されたメールで野党が注目したのはこの部分”先方、学校法人、加計学園”面会相手の一番上には加計学園、愛媛県や今治市はその下に記載されています。さらに”加計学園が藤原次長に面会に来るとのことです”」

今井雅人(希望の党衆院議員)「一番最初加計学園なんですよ、その後に愛媛とか今治ですから、これ愛媛とか今

治は随行してきたんですね、来たのは加計学園じゃないんですか、そういうことなんですよ？」

内閣府担当者「おっしゃるとおりこういう順番で書いてあればそうだったんじゃないかという推測といたしますか見方はでてくると言うか強まるというか、ということかとは思いますが」

今井雅人「このメールを見る限り、まず面談の主体は加計学園だと、それでいいですか。これ見る限りはそう読めますよね」

内閣府担当者「そういう印象をもたれる方が多い、あるいは強く持つかもしれませんが」

今井雅人「いやいや、そう見えてもおかしくないですよ、15時から面会をしているということはこのメールを見る限りには事実ということですよ」

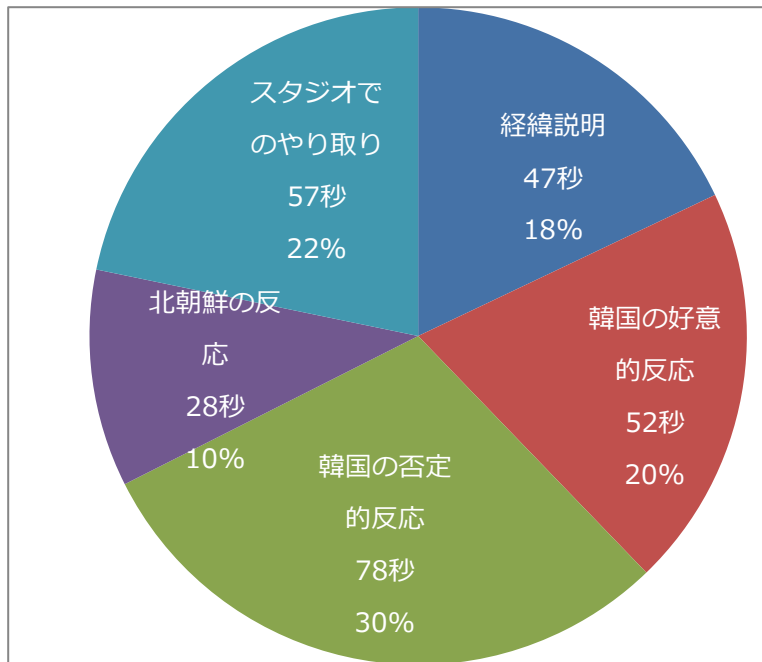
内閣府担当者「事実というか、という見方が強まったことかと」

ナレ「野党は総理秘書官の柳瀬氏との面会は加計学園が主導したのではないかと追及しました」

この問題について取り上げた時間は222秒で、取り上げ方それ自体については別段問題は見られなかった。

・南北首脳会談：結論→高評価

南北首脳会談にむけて南北間でホットラインが歴史上初めて設置されたことについて報じられた。この問題について当てられた時間は262秒で、経緯説明、韓国の好意的反応、韓国の否定的反応、北朝鮮の反応、スタジオでのやり取りという5つのポイントが有り、その時間配分および比率は以下の通りであった。



特に、韓国の否定的反応では、軍事境界線の付近に住み北朝鮮の体制を批判するビラを風船で北朝鮮に飛ばす活動をしている脱北者のイ・ミンボクさんの事例で先週もビラを風船で飛ばそうとしたところ、警察に阻止されたこと、その時の映像として以下に朱記したものが取り上げられていた。

イさん(字幕)「風船を飛ばしに行こうとしたら情報を聞いた警察がやってきて、私の前を塞いでいます。」

イさん(字幕)「上からの指示ですか？」

警察(字幕)「はい、そうです。今、南北和解のムードがありまして、それで上から”止めさせろ”と…」

融和ムードがある一方でこうした否定的な反応もあること、また政権はこうした否定的反応や南北融和に水を差す動きに対しては警察を動員していることなども報じており、南北融和を手放しで好意的に受け止めるような報道ではなく、光と影の部分の両方にスポットを当てた質の高い報道であったと言える。

・超党派国会議員の靖国参拝：結論→問題なし

明日から始まる春の例大祭を前に超党派の国会議員らが靖国神社を参拝したこと、参加したのは自民、民進、日本維新の会など、みんなで靖国神社に参拝する会のメンバー76人ということ、一方で安倍総理は来月9日、日中韓サミットが予定されていることから例大祭に合わせた参拝は行わない見通しであることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は27秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

ただし、国会議員についての情報は有権者にとって極めて重要な情報であることから、参加した議員について「76人」と済ましたり政党についても「など」で済ましたりするのではなく、ナレーションで明言しなくともテロップを用いて、政党や議員については参加者を全員列挙した方が、視聴者への情報提供という点では望ましいのではないだろうか。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・全体の構成について

財務次官のセクハラ疑惑のトピックのところで麻生大臣が記者に対して「最初にG7(G20)の説明からしたほうがいいんじゃないか」と最初にコメントしていたが、こうしたコメントが取り上げられていたにもかかわらず、今回の報道ではG20についてはトピックとしては取り上げられなかった。

放送法第四条の見地からの評価や印象操作についての評価という問題以前の問題であり、報道しない自由を行使していると取られてもおかしくない番組構成であり、そうした意味では明らかな印象操作や放送法違反以上に悪質な報道であったと言える。

・財務次官セクハラ疑惑

星キャスターがスタジオで「まず1つはですね、与党議員の反応だと思うんですね。週末にみんな地元に戻りますから、週末地元の人達このセクハラ問題どう反応するか与党議員は非常に敏感に受け止めてくると思いますね。」とコメントしていたが、これはその通りだと思う。もし、週が明けて与党議員がこの問題を重要視したのであれば、それは地元の有権者が財務次官のセクハラ疑惑を重く見たということであり、逆に週が明けても与党議員に目立った動きがないのであれば、それは地元の有権者がセクハラ疑惑を重く受け止めなかった、あるいは重く受け止めたものの議員が動く案件ではないという見解を示した人が多かった、ということであろう。今回の星キャスターのコメントは来週以降のこの問題を検討する際に覚えておくべきコメントであると考えている。